

KOLA

第 41 号
発行 11/15

編集 岸和田
OL協会
編集局

リレーは楽し、面白し！！

瀬戸 照久

前日の東日本会場で、リレーメンバーを探したところ、池田先生のお嬢さん（千秋さん）がフリーと聞きつけお願いしてメンバーへ入ってもらいオープンBクラスへエントリーしたのです。チーム名その名も「泉州選抜？」

1走は、私、係の不手際か寺田氏のチェックカード添付の053MAPを前にスタートを待ちます。GO！なんと今日の足の軽さ。体調の良さ。前日と重複したゲレンデということもあり快調そのもの。1番2番3番とネライ通りラン、そしてチェック。特に3番はラジオポイント、会場の寺田氏や池田嬢は早々とした035コールに喜んででしょう。

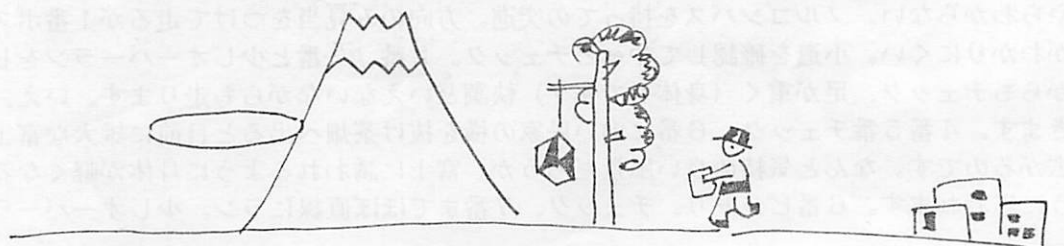
次へコンパスをあてます。ノルコンパスの使用法、使い良さを前日マスターしています。本日は快調。ゲレンデは良し。直線ねらいは当然と思ったのです。スピードを落とさないように沢を廻りランニング。飛ぶようです。イヤほんと。しかし、飛び過ぎました。道路へ出たのはよいけれど、ネラッタ所よりはるか西。しかも現在地を勘違いして4番めざして南へひたすらランニング。ますます分からなくなり目前に富士市街が広がって地図の外にいることを実感。どこがどこやら、帰れるのやら、ともかく富士に向かって（北へ）走り尾根を越え、やっと他のオリエンティアーに巡り会ったのです。現在地点を教えてもらい4番をやっとチェック。最初の足の軽さも時間とともに重くなり5、6、7番チェックでやっとゴール。

待ちくたびれた千秋さんにタッチ。二走が飛びだしました。タイム1.36.28。6チーム中4位。しばらくして053コール。それからまもなく千秋さんが駆け込んできました。全く早い。1時間近くではあるんですがゴール後、更衣やら速報を見たりしていたのでほんとに早く感じたものです。今度はアンカー3走の保イ。頑張ってや。

2走までのタイム、2.34.02、第2位。千秋さんのタイム、0.57.34、時刻は過ぎます。午後1時30分残りの走者全てウムスタート。以後中継がなくなりました。保さんは現在どの辺だろうか。やっぱり最後まで中継のあったほうが会場のムードが高まるのではないのでしょうか。

1時間程度と目星をつけゴールでカメラをかまえて待ちうけますがKOLAのユニフォームが入りません。1時間10分、20分とたちますがまだ！これは迷ったな。やっと見えた。来た。最後だ。ファイト！ご苦労さんゴールです。タイム4.04.02。

3時現在速報2位。頑張りました。保さん1.30.00。KOLAチームとして初のノーペナ。完走です。池田千秋さん、誌上を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。編集部より 地図の外まで楽しんで主催者に代って ご苦労さん



静岡県リレーOL大会 (11月4日)

〇〇〇阪神優勝バースのような人の巻〇〇〇

前日は富士市内のホテルを捜し荷物を解き、二日ぶりの風呂で身体を流して夜の町へ。炉端屋で腰を据えて、途中OLニュースのおっさんが来たりで10時になった。部屋に戻って朝までグッスリ。6時半起床。7時に8階レストランへ。大窓一面に富士の裾野から頂上の円い建物まで一望のもとに見渡せ、二度とない絶景だった。

瀬戸氏は帰ってこない。中間ポスト通過の発表が早くからでているにもかかわらず、助けっ人の池田さんのお嬢さんが待機枠で首を長くして待っている。他の組は続々リレーして次走者が林の中へ消えて行く。2時間近くなって最終ポスト通過のアナウンスがあった。カメラを構える。瀬戸氏、御帰還。タッチした池田さん快調に林の中へ。助けっ人は頼もしい。1時間もしない内に帰ってきた。いよいよ出発。最終ランナーの数も疎ら。タッチして地図設置点まで急な杉林の斜面。這うように登っても息が切れる。頂上でひもに吊られた地図がもう少ない。地図をとり長い助走路。地図を広げると昨日と同じ方向へ。林の中では先人の踏跡をたどって、2番、3番と登りで這い、下りで歩き、道や川、送電線は目標点でしかなく杉林の間を一直線に進む。(多少地形に沿って)4番までは身体がついて来ぬとも、なんとか見つかった。5番ポストが無い。後で考えたら道の曲がりのほんの近くにそのポストがあった。番号違いのポストを二ヶ所も見つけた。森の中を岩から岩へとさまよっていると、元の道へでた。そこで記憶が戻って来た。6番ポストへ行く道頃は遠い。気の焦りから雑木林や杉の下枝のはった所もものはせず頭から突っ込む。不安の内にも前方に明るさが見えて道路に出た。鉄塔、茶畑、現在地がよく読めた。6番、7番は入れ替わり従走者が後先にいて、前に通った人の足跡が前へ前へと案内してくれた。最終ポスト8番で又も大チョンボ。一、二本道を先に曲がって思案にくれてしまった。幸い同類者が三名で合同会議。帰りの一本道を少し戻って、Tの字走行で最後のパンチ。出迎えもまばらのゴールへ(約二名の拍手は確実だ)足の痛みも忘れての帰還である。

スピードと知性の欠けた奮戦だったが楽しい初めての2、5日間だった。

===寺田 保===

行ってきました東日本大会 !!!

走ってきました富士の山 !!!

富士がきれいに見えるだろうかと期待に胸をおどらせ、OLよりもそのことを目的にしたような東日本大会への旅立ち。

11月2日午後、仕事を終えて寺田氏といざ出発。阪神高速、名神、東名とひた走り。午後10時過ぎ富士の裾野にある少年自然の家へ着。明日の為早々に車中で就寝。イビキがなんとかの苦情もものとせず?気持良くグーグー。

さて、いよいよ3日なんと快晴、雲一つない富士がそびえておりました。今日の参加者はエントリーですでに2000名を越えるとか。いやがうえにも気分は高まります。早めにスタート地点に行くや顔見知りのオリエンティア達と談笑。まず寺田氏を送り出しよいよスタート。10時47分ゴー!

富士の裾野は林の中。完全に走行可。どこでも一直線に走れるのです。但しポストがどこやらわからない。ノルコンパスを持っての突進。方向のみ見当をつけて走るが1番ポストがわかりにくい。小道を確認してやっとチェック。2番、3番と少しオーバーランをしながらもチェック、足が重く(身体もです?)快調といえないながらも走ります。いえ、歩きます。4番5番チェック。6番に向い民家の横を抜け茶畑へ出ると目前に雄大な富士が広がるのです。なんと気持の良い風景だろうか。富士に誘われるように身体が軽くなるように思われます。6番ピシャリ、チェック。7番までほぼ直線にラン。少しオーバーラ

ン戻りチェック。8番チェック。9番はグリーンの中の小道。しかし、ここは関東、植生の感覚が違うのでしょうか。関西のグリーンが見当たりません。分岐からの歩測により東へ飛びこみ9番チェック。後、道をたどり10番、そしてラストチェック。1人2人追いこしてゴールへ飛び込んだのです。

1時間53分03秒。規定時間内でしょう。

瀬戸 照久

足の爪もまっ黒けの巻

東日本OL大会にて

10月2日午後2時40分瀬戸会長と自宅を出発。名神、東名と乗りついで夜の富士インターへ、富士市内でビールを仕入れ、森深い闇の現地着。大会役員らはコウコウと電気をつけ明日の準備に忙しい。我々は路かたに停めた車の中で麦酒盛り。寝袋を並べて朝までいびきの中。

上^{天気}の朝、自炊うどんを食べ本会場へ。テント村、本部テント、ゴールテープ、土産物屋等が並び人も多くなってきた。その会場からは雪を載せた富士が頭をのぞかせすばらしい。

スタートは杉山から坂落として、スタート一分前が80m先で転げる様にスタートラインへ出発。地図を広げコンパスを当てる。もう廻りには人が少ない。右方向へ誰も行かない、不安のまま右へ道に出てすぐ林の中へ。1番ポストは丘の上だが小屋と茶畑にぶつかった。左へそれていた。道に廻ってられない。林の中をもどる。前方に白いものが見えた。ロスが少ない。2番ポストは先ほどの茶畑の間を道を通ってそれを「π」の印。林の中なので勘をたよりに目を凝らして走る。3番ポストは遠い。足が沈みこむ様な枯れ土の林を突き進んで道に出た。森を駆けぬける自信がない。Z字状の道を走る。(歩くことも多い。)
「ここはどこ」と男の子が近づいて来る。地図を指して「この辺」「ええ…」と地図を本気で覗きに来る。ススキの原へ分け入る。ポストは近い。目標を定め森へ、二、三人が交差する。一人の後を追う様にパンチ。4番へは送電線と平行にと決断。火山岩、倒木や枯枝を蹴って一直線のつもり。上空からは光が差してこない。小道を横ぎり電線を頼りに森へ、鉄塔に出て、正置すると少し行き過ぎ、尾根の下の林で人影が動いている。急いでパンチ。もう所用時間は一時間近くになっていた。5番ポストは尾根を真直ぐ下った方向。鉄塔をかすめて進もうとしたが、杉の下枝が多くて行きづらい。反対の小道へはもう戻りにくい。小道に先で交差すべく、斜めに分け入る。小道にでるがどの辺か分からない。兎に角前進々々、道の交点、交点と息を切り胸を押えて走る。ようやくポストへ。6番ポストへは林の中を東南へ、小道を電線を横ぎり道にでた。土手に腰を据え正置。その道を南へ、救護所に水のカップが並べてあったが横目で小道を西へ急ぐ。人が集まって来ている。すぐパンチできた。7番ポストは水のない川を三、四人が同時に縦走。尾根がせまり森が深くなるにつれ一人、二人と見えなくなる。川から境目もなく小道へ。舗装路から再び林へ、丘を捜す。小山の様な高い丘の上にパーマメントポストがある。その先の岩の横にポストがあった。丘を駆け降りたが一面の雑木林に立ちすくむ。手足にとげが刺し服を引っ張るが道路へ登りきる。小径へ方向をとるが径が多く現在地を見失う。右往左往ますます分からない。30分以上はロス。同じ尾根にでるがポストがない。雑木林が目印でやっと読めた。9番ポストは道路の交点、あとはゴールをめざすばかり。足は重く青テープに沿ってゴールイン。1時間40分位と思っていたが2時間もかかっていた。両足の親指の爪が痛い。おニューの靴が真黒になっている。

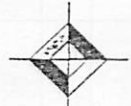
===寺田 保===

2— H21B (6500m) 瀬戸照久 1'53"09
 3....., H35B (5000m) 寺田 保 2'02"18

大淵丸尾

OHEUCHIMARUBI 富士市教育長 小川 清 著

静岡県富士市
 FUJI, JAPAN

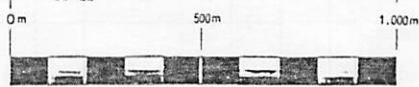


●	湖・窪地の水塔、柱架	Lake/ditch/ditch, Cam
○	池、貯水塔	Pond, Water tank
○	枯木	Stump - Fallen tree
○	出入禁止の開けな土地	Open land (Prohibited to cross)
○	可成な開けな土地	Open land
○	開けな土地	Semi-open land
○	民家の敷地	Fallen area - Afforested area
○	荒地・造林地	Premise
○	通行可	Normal running
○	ゆっくりとしか走れない	Slow running
○	歩いてしか走れない	Difficult to run
○	通行困難	Fight
○	ある方向にだけ走れる	Forward running in one direction
○	京町立入禁止区域	Area prohibited to enter for the shrine
○	立入禁止	Area prohibited to enter

① --- H21E (11300m ↗ 420m)
 ① 村越 真 (24歳) 1'30"29
 ② --- D21E (8400m ↗ 370m)
 ① 長田 由希 (25歳) 1'42"57
 3:00 所現在 差額によ

等高線間隔 5m
 CONTOUR INTERVAL

縮尺 1:15,000
 SCALE



調査日 1984年3月～1985年10月
 調査者 池田 清 大野 久 大橋 正
 小松 健二 三條 健利 佐藤 文雄
 鈴木 博好 戸原 雅弘 中村 友治
 西原 聖夫 西川 勝義 原田 悠明
 坂井 均 松山 亨 谷野 守石
 作図者 西原 聖夫
 印刷 共立印刷 1985.10.10000

府民大会 能勢

—瀬戸 照久—

富士の余韻を楽しみたくて10日能勢へ足をむけました。大阪の南から北へ、車で2時間余り…タクトのみなさんご苦労様です。

城山山麓と地図名称の変った元西能勢パーマネントコース。きれいに出来ています。神於山も早く作り直さなくてはと痛感いたします。

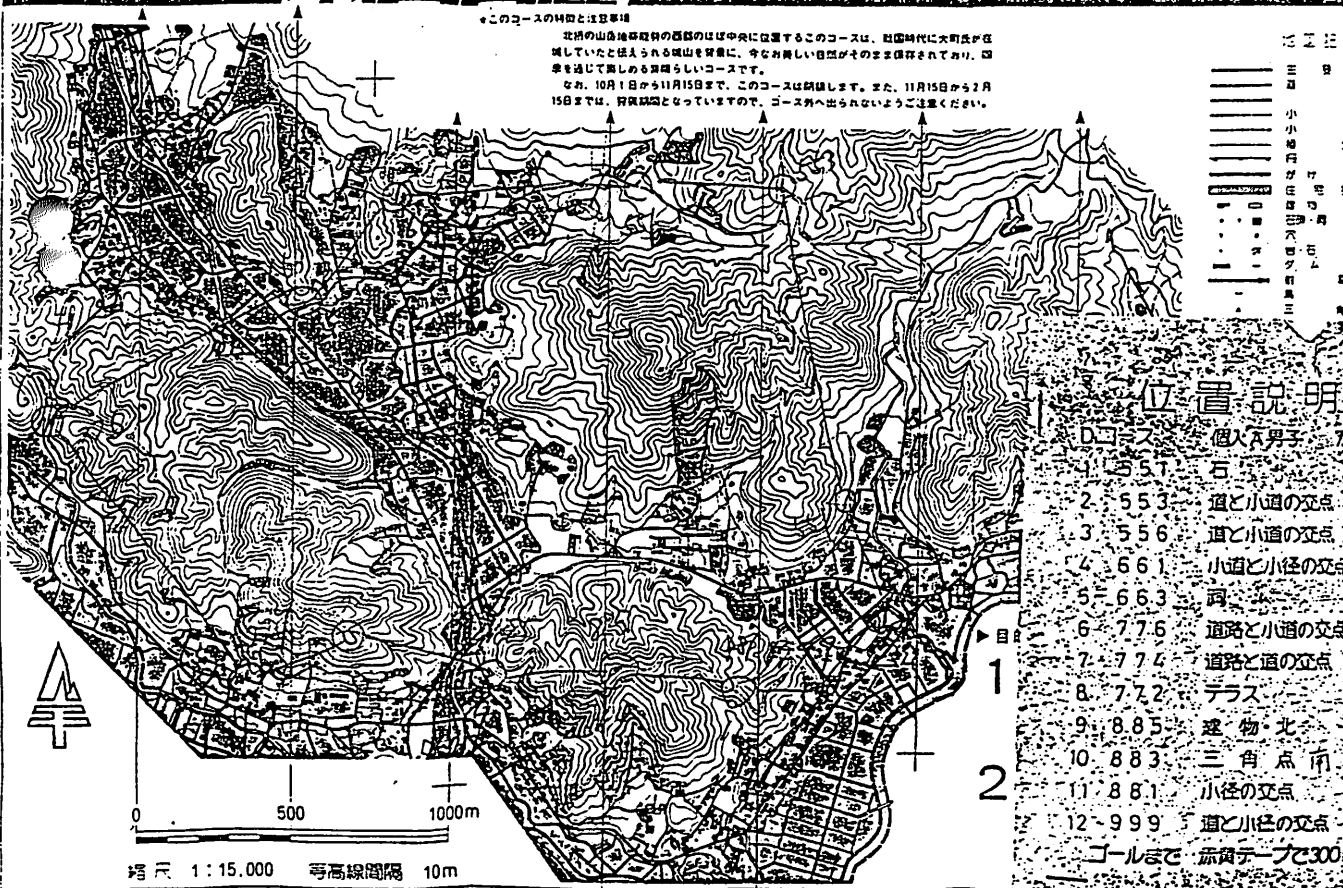
さてNew-Map大会、個人Aクラスを申し込み、更衣をすませてスタートへ。富士の調子よ再び……と気負います。ゴー！マスターマップへ急ぎ、いざ転写。やはりタクトいつもながら個人クラス、それもAクラスは地図の外周マラソンコース、でも飛び出します。トリムの方々の驚き？の目を後に走ります。1番少しオーバーラン、PCのマップです。慎重に見て下さいよ、ハイッ、チェック。2番へはシイタケ林の中を直進、登りはシンドイ、尾根に登り踏み分け道をコンパスに従って進み沢へ下る。小道を確認後2番のある分岐へチェック、少しかくしているようです。3番へも走ります。ここで大阪OLCの藤田氏と出会う。やはり2番を見過ごしたそう。約30分も早くスタートした藤田氏に追いつくとは快走の部類だな…と内心ニタニタしながら3番の分岐へつき、いざチェック…と思いきや、無い。ここに間違い無いと思ひ探すのに、無い。藤田氏も来る。10分前後探してもないのであきらめます。もう後を走る気力もなくなりますね。当会でもたまたまミスを行います。参加者のガックリがわかります。このミスをなくすようにしないといけない事を身にしみて感じました。あと4番から12番まではもう藤田氏と2人3脚でコースの品評会をかねてのジョギングでした。

アップダウンのあるシンドイコースでした。ただ、「このAクラス皆同じ条件（マスターの記入違い）ですので成立します」と言っていました、それは通りません。ミスは誰しもありますが、後の処置は不成立==参考記録でよかったのでは……タクト様。

能勢 城山山麓

このコースの地図と注意事項

北摂の山岳地帯西側の西側にほぼ中央に位置するこのコースは、戦国時代に大町氏が築いていたと伝えられる城山を背景に、今なお美しい自然がそのまま保存されており、四季を通じて楽しめる素晴らしいコースです。
なお、10月1日から11月15日まで、このコースは閉鎖します。また、11月15日から2月15日までは、狩猟期間となっていますので、コース外へ出られないようご注意ください。



位置説明

- D. コース 個人A男子 7
 - 1. 5.57 石
 - 2. 5.53 道と小道の交点
 - 3. 5.56 道と小道の交点
 - 4. 6.61 小径と小径の交点
 - 5. 6.63 祠
 - 6. 7.76 道路と小道の交点
 - 7. 7.74 道路と道の交点
 - 8. 7.72 テラス
 - 9. 8.85 建物・北
 - 10. 8.83 三角点南
 - 11. 8.81 小径の交点
 - 12. 9.99 道と小径の交点
- ゴールまで 赤旗テープで300



セトさん
千秋さん

東日本大会 会場風景

保さん
泉州区バツ
ア-4

忘年会です

12月21日(土) PM7.30

岸和田駅前商店街 冬山閣 にて

会費 ¥3,000- (中学生以上) 但しアルコールを楽しむ人は+¥500-
全員 参加して下さい、ネ!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!

初春の大和路、KOLAのマーク走る

先に送付しました西日本大会の申し込みは済みませうでしょうか？奈良は近いのです。もちろん日帰りできますし、家族で、または彼氏、彼女と、それとも不倫のあの人と？の一泊旅行としゃれてはいかが。

OLをする限りビック大会参加は希望でしょう。多くの仲間が集まり、多くのクラスの中に自分のクラスを選び、ちゃんとした規則の中で開催されます。楽しさ、面白さは地域のミニ大会の数倍に値します。できれば個人クラスで、もちろんトリムクラスでも奈良の町にKOLAのユニフォームをあふれさせたいものです。

東日本でも感じましたがクラブテントを張り、仲間が寄りますと楽しさは倍加しますよ。会員諸氏の参加を期待します。なお、個人クラスもトリムクラスも当日オープンで参加できますので、申込をしていない人も当日、都合がつけばぜひそ参加してください。

当日は全員そろって、車等で分乗して一緒に行きたいと思います。

西日本大会一昭和61年1月12日(日)

Aiming

半年ぶりのビック大会参加、東であろうと西であろうとおなじみの顔ばかり。みなさん頑張ってるなあと思いましたが、今回はチト変り、池田先生の奥さんが体調悪く不参かとか、JOLCの永井さん、埼玉の川口さんの入院を耳にしました。OLは健康スポーツですが無理はいけません。普段の生活も含め、無理をせず、心身の健康にはお互い留意したいものです。